

特64

577

義經代記

特

57



伊豫守義経



No 12706





大納言
成親の浄
海の横逆
を憤り判
官康



頼西光 等と平家と
討んと企てし事願
北入道怒り西光を切
成親を流し法皇と
幽し奉らんと兵を集
め其身も命出せん
重光 盛光 其未
いとも見



暴徒の言
 言はれ入道
 取て止りける
 高倉の宮
 源三位頼政のす
 めて平家と亡
 さんと既宮の三
 井寺より平学院へ
 入せ玉い頼政の類を
 せめて平家の軍勢と
 宇治橋を勇
 戦はなる

提原を救むて先
 濟する事を得ん
 義仲の行親兼平
 さし宇治川
 防ぎ戦ひしと
 雖どもはたに
 うち資なれ
 義仲の自
 ら陣を具
 して拒
 戦は



元暦元年頼朝の
 木曾義仲が都を
 乱せ開
 範頼義経を
 して征討せ
 むみ義仲の
 勢田宇治
 拒さ戦い
 此の時
 佐々木高綱
 提原
 景季と先
 濟を
 競ひし佐々木

提原を救むて先
 濟する事を得ん
 義仲の行親兼平
 さし宇治川
 防ぎ戦ひしと
 雖どもはたに
 うち資なれ
 義仲の自
 ら陣を具
 して拒
 戦は

九郎義経の
一谷のけしきな
る鶴越子向
ひなる



同所の
上なる鉢伏
途の
打の不
此の如
か

嶮な
北の
大将
義経
大黒
夫の
馬と
て
下嶮
を
同
一
号
と
云

火を放ち
平軍を
追崩し
る是を鶴越の逆落と
いふ平家ハハしまし城を
うへ知盛も九州の兵を卒いて文字
が関を固め義経ハ大物が
浦ノ船揃し軍議ある
に播原ハ船ヲ逆播をかけて
進退を自由せんと云々北とも
義経聞入す怒て
のしれい返す言なくして止りなる





源氏
 軍せい五
 万余騎まで生田
 の森を固めたるは武藏ノ住人河
 原太郎弟次郎とも城中に深入して
 討れりと聞ゆりも梶原ハ生田の森の逆茂
 木取のたさせ梶原平次真先子のり入りルれば
 父の平三兄がん太いつゝさるるに源太馬を



越前 賜
 まかろ加賀
 の富樫に至れ
 判坂を待受たれ
 并 表ハト



富樫 城
 至り大仙
 再建の勸
 を讀

此 地を
 過る
 難るく
 頼朝ハ平家
 を七し四波太
 平天下一統す

明治廿一年十月五日
同世二年十月六日
日印刷
日出版

定價拾錢

著作兼

大阪府平民

發行者

柏原政次郎

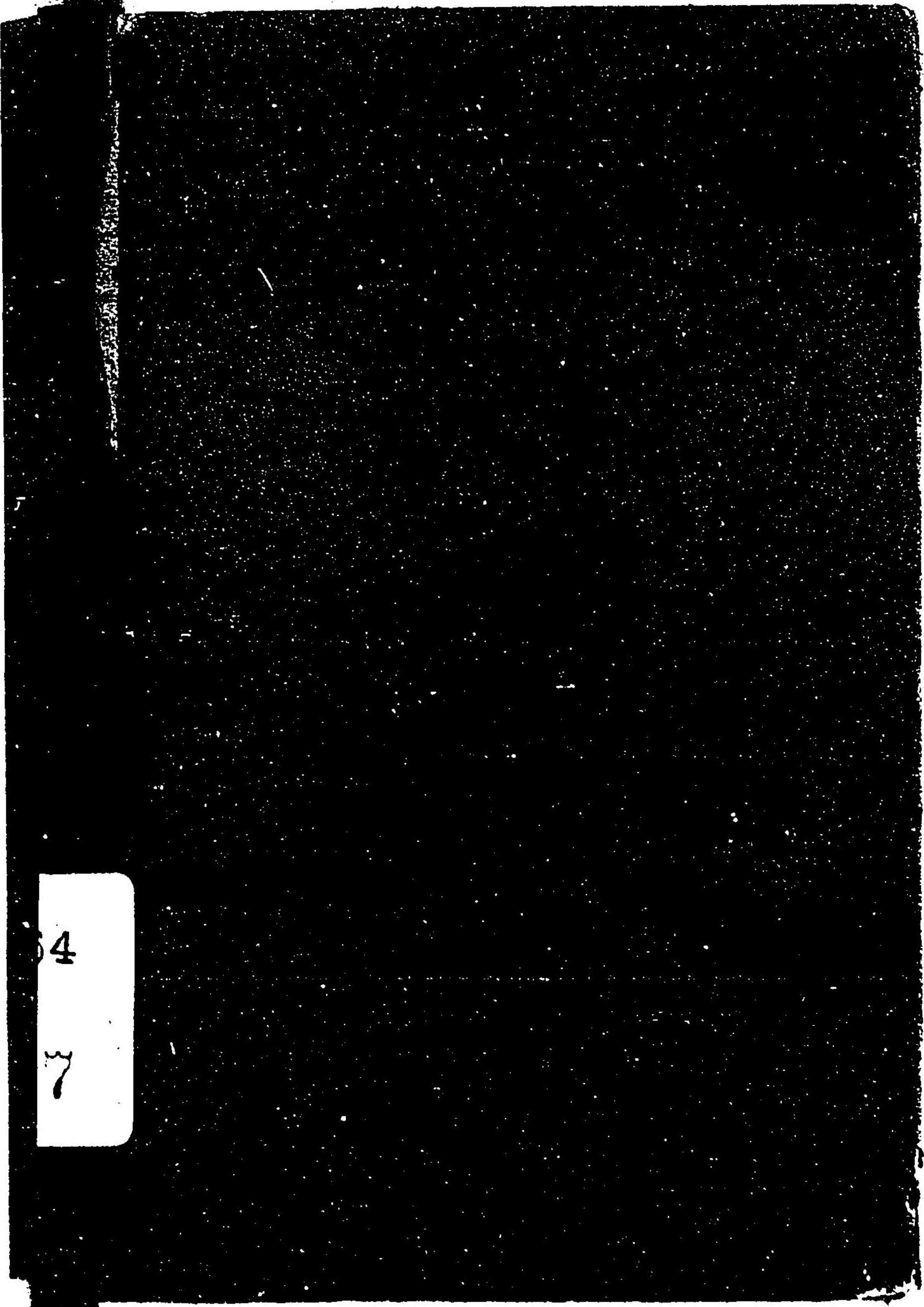
同府下南區塩町三丁目
十九番地

京都府平民

印刷者

伊藤儀平

當時大阪府下東區本町四丁
目第三番地



4
7

特64

577

092709-000-1

特64-577

義経一代記

柏原政次郎

特

57

M21

DBP-2492

